

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

103	提案機関名	芦ノ湖漁業協同組合		
要望問題名 芦ノ湖におけるワカサギの放流効果及び生存率の調査と高生産性の確立。				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 背景 ワカサギについては、毎年義務放流量を踏まえた孵化放流を行っていますが漁獲が安定しません。この原因が放流数の不足か、餌が足りないのかが分かっていません。また年毎の生存率と放流に適した時期が何時なのかという事を含めて調査し、結果を踏まえて漁族の安定した生息環境に資したい。 内容 孵化放流魚の生存率と分布、成長に関する調査。 対象地域 神奈川県芦ノ湖全域 規模(面積、数量等) 湖岸線長さ 約19.91km 面積約7.09km ²				
解決希望年限	1年以内	2～3年以内	4～5年以内	5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術センター 水産技術センター 自然環境保全センター			
備考				

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場			
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中	継続検討	実施済	調査指導対応	現地対応	実施不可
試験研究課題名 (、 、 の場合) ワカサギ放流技術開発研究事業						
対応の内容等 平成24年度より、芦ノ湖のワカサギを対象とした調査を始めた。 ふ化放流したワカサギ仔魚の移動・分散を把握すると共に、ワカサギ仔魚の生残に影響を及ぼす餌料生物について調査を開始している。 平成25年度からは、ワカサギ放流仔魚の初期減耗対策として、ふ化仔魚に給餌することによる生残率の向上のための試験を行う予定である。						
解決予定年限	1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内	4～5年以内	5～10年以内		
備考						